



# 所信表明

教訓を生かした基本理念

## 「人と人との絆 未来へ確かな復興」



3月定例会で所信表明する西田町長

安全で安心して暮らすことのできるまちを目指して



## 紀宝町

町民の皆様の、支え合いや助け合いの力を結集して、安全で安心して暮らすことのできるまちの創造に向け、新たな町の再生と発展に全力で進めてまいります

### 未

曾有の大水害となりました、平成23年9月の台風第12号災害から、約1年半が経過いたしました。その間、災害復旧・復興を本町における最重要課題として、町民の皆様のご理解とご協力のもと、議員の皆様、建築業者や土木工事業者などの各種事業者等と共に力を合わせて、被災された町民の皆様への生活の再建、公共施設や農業施設等の1日も早い復旧に、全力で取り組んでまいりました。

平成24年度からは、特別参与を1名増員し、庁内に災害復興プロジェクトチームを設置して、復旧・復興計画の策定を進めるとともに、各種事業の連携・強化、進捗状況の調整管理などの取り組みを行っております。

復旧・復興計画につきましては、議会災害復興対策特別委員会において協議を重ね、また区長意見交換会などを通じ昨年12月に「紀宝町平成23年台風第12号災害復旧・復興計画」を策定いたしました。

計画期間を平成28年度までとした本計画では、今回の災害体験を教訓とし、「人と人との絆 未来へ確かな復興」を基本理念に掲げ、町民の皆様への支え合いや助け合いの力を結集して、町民の皆様、議員の皆様などとの協働により、新たな町の再生と発展、町民が安全で安心して暮らすことのできる環境整備を、全力をあげて計画的に進めてまいります。

できたく、特別参与を1名増員して任命し、4月からその任に当たっていただきたいと存じます。

具体的には、「紀宝町地域防災計画」の見直し事業を始め、各種の防災・減災対策のハード、ソフト事業の推進について、特別職として対応を行ってまいりたいと考えております。

一方、東日本大震災の惨状の記憶は、いまだ覚めやみません。全国の多くの方々が、地震や津波の脅威を、昨日のできごとのように感じられているのではないのでしょうか。本町におきましても、発生が懸念されております、南海トラフを震源とする東海、東南海及び南海地震への備えを万全にし、安全で安心なまちを構築してまいらねばなりません。地震災害や風水害などに対する防災・減災対策は、本町にとりまして、今後も重要な課題でございます。

そのため、本年4月から、防災対策事業のさらなる進捗を図り、住民の皆様への安全・安心の向上に努めさせていた

これまで、徹底した行財政改革のさらなる推進、教育・子育て環境の充実、地域資源を生かした産業振興による雇用拡大の推進、住民福祉の向上と特別養護老人ホームの建設、紀宝バイパスの早期完成と河口大橋の建設促進につかましまして、その実現に精力を傾けてまいりました。加えて、台風第12号災害への対応、及び復旧と復興、防災対策などを強力に進めてまいりました。

このような様々なまちづくり施策の種が、芽を息吹かせ開花し、葉をつけ、力強い幹が形成されるよう、さらに力を尽くしてまいります。

▼町政の基本方針と施策の大纲は次ページから。



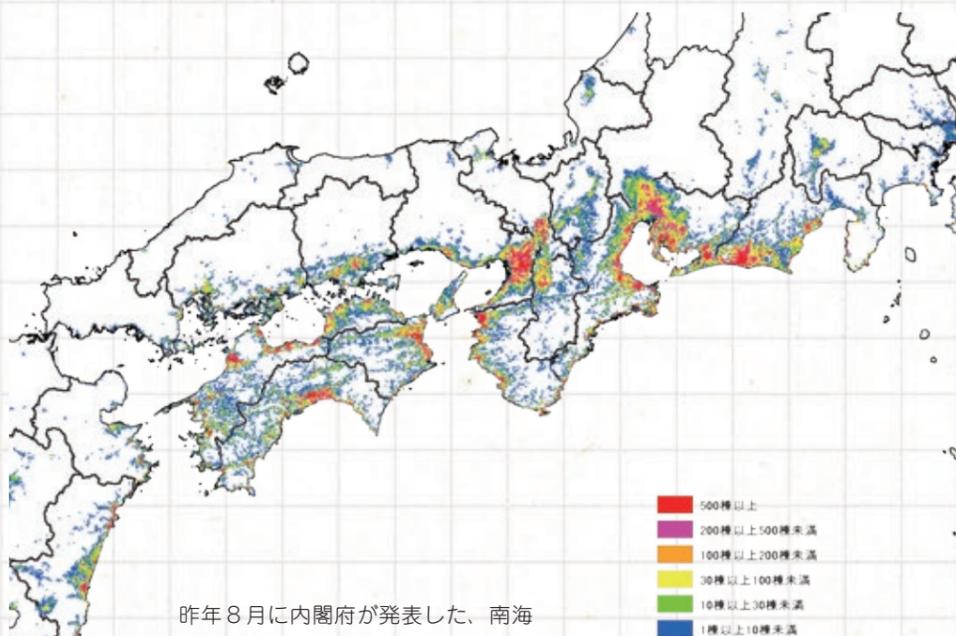
## 防災関係

防災・減災関係につきましては、南海トラフを震源とする「東海・東南海・南海地震」の発生する確率が年々高くなっており、「南海トラフ巨大地震の被害想定」や、台風第12号の被災状況を参考にいたしまして、ハード・ソフト両面において積極的に取り組んでまいります。

ハード面での取り組みで、防災拠点施設につきましては、本年10月末の完成に向けて、鋭意取り組んでまいります。この防災拠点施設は、災害時には災害対策本部の活動拠点になりますとともに、住民情報データや防災無線の機器等を津波浸水想定水位以上の高さに移設することが可能となります。また、津波避難ビルとしての機能も兼ね備えておりますので、高台のない庁舎周辺地域にとりまして、一時避難場所としての効果が期待できます。

飲料水の確保につきましては、40トンの貯水能力を有する防火水槽を兼ね備えた、緊急用飲料水貯水槽を町内6か所に設置いたしますとともに、急激な水量の変化を感じし、自動的に遮断して配水池の水を守ることができる「緊急遮断弁」を、御船浄水場と井田上野配水池の2か所に設置してまいります。

また、公用車や緊急車両等の燃料確保対策につきましては、町内にある4か所のガソリンスタンドがいずれも津波浸水予測地区内で営業されており、災害時における公用車や緊急車両等の燃料の確保



昨年8月に内閣府が発表した、南海トラフの巨大地震に関する津波高及び想定被害。詳しくは、広報きほう平成24年10月号をご覧ください。

が困難になることも予想されますので、高台に自家給油施設の整備を行うてまいります。

避難所や一時避難場所の確保につきましては、台風第12号において被害を受けました高岡避難所と高岡老人憩の家の代替施設として、善応寺下の高台に「高岡防災センター」を建築いたしますと

もに、浸水した第2分団高岡班の消防車庫につきましても、隣接して建て替えを行ってまいります。被害を最小限に食い止めるには、ハード面の整備や行政の力だけでは限りがあり、住民一人ひとりが防災・減災に対する意識を高め、家族や地域の連携を強化することが必要であります。災害時には「自分の命は自分で守る」ということを基本に、自らの命を守るための「知識・判断力・行動力」を身に付けていただくための取り組みとして、全町民を対象とした防災講演会や、子どもや高齢者への防災教育など、それぞれの立場や環境、年齢に応じた勉強会や研修会を行い、住民の防災意識高揚に努めてまいります。

自主防災組織の育成強化につきましては、37の自主防災組織が設立されており、町内世帯数の約90%の世帯に参加をいただいております。今後は、自主防災組織同士の連携や、自主防災組織と学校・保育所との連携など、色々な連携を想定した取り組みや訓練を行い、災害時には全町をあげて、共助による減災活動や復旧活動が行える仕組み作りを行ってまいりたいと考えております。今後とも、国・県・医師会など

各関係機関のご協力をいただくなかで、町と消防団・地域住民が一体となり、自助・共助・公助を基本にした防災・減災活動に取り組む、限りなく犠牲者をゼロにするまちづくり、地域づくりを進め、災害に強い安全・安心なまちづくりに取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 定住対策

定住対策につきましては、本町において重要な政策として位置づけ、特に若年層の定住促進を図る施策により、暮らしやすい生活環境の充実を図ってまいりたいと考えております。

住宅用地の整備を行い、若年層の皆様への分譲地として提供してまいります。旧井田保育所跡地を候補地として考えており、平成25年度に分譲を開始してまいります。今後も、町有地や空き地を有効に活用し、住宅地の確保による定住促進を図ってまいります。

さらに、平成25年度から空き家の有効活用を図り、住宅の確保の促進に関する施策を実施してまいります。空き家情報の収集・集積

と、所有者の意向調査のため、空き家調査事業を実施させていただきます。今後は、「空き家情報登録制度」の導入も視野に入れながら、人口増加に関する施策に取り組んでまいりたいと考えております。

これらの事業に加え、平成25年度は、これまで取り組んでまいりました「出会い交流事業」を熊野市と連携することにより、三重県の南部地域活性化基金を活用した婚活事業として、実施してまいります。

以上の3事業「宅地分譲」・「空き家調査」・「婚活事業」を連携して実施し、若い世代が安心して結婚し、子どもを産み育てられる地域づくりを目指し、定住対策を進めてまいりたいと考えております。

## 台風第12号災害 固定資産税の減免制度

台風第12号災害に関連した固定資産税の減免制度につきましては、被災住宅に代わる住宅を新築または取得された方に対しまして、定住支援対策の推進と税制面での救済を図ることを目的として、住宅に係る固定資産税の減免を実施してまいりたいと考えてお

ります。被災した住宅が「全壊」・「大規模半壊」及び「半壊」の罹災証明書を受け、そのまましておくとは危険な場合や、修理するにはあまりにも高い経費がかかるため、やむを得ず解体した場合などのため、平成23年9月2日から平成28年9月1日までの間に新築または取得された住宅を対象に、取得後3年間、住宅に係る固定資産税の全額を減免させていただきます。

## 元氣やでー紀宝町 川文感謝まつり

台風第12号により、被害を受けた「飛雪の滝キャンプ場」、及び



飛雪の滝

併設しております「健康増進広場」が、国立公園を管轄する環境省や三重県により、平成24年度末をもちまして復興する運びとなりました。また、「各地区集会所」・「県道小船紀宝線」等が概ね復旧の運びとなり、浅里地区の悲願でありました管農飲雑用水事業も同時期に完成予定となっております。これらを祝し、被災された方々を始め、町内の方々、ボランティアの皆様、被災直後から復旧・復興につきまして長期間ご支援いただきました皆様と共に、地域全体の活力再生への機運を高めることを目的に、浅里健康増進広場を会場として5月25日に、「元氣やでー紀宝町川文感謝まつり」を開催いたします。



導入した、最大積載量が2,000ℓの給水車

## 水道事業

水道事業につきましては、台風第12号により、全給水区域が断水するという事態になり、町民の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。

平成24年度に配備いたしました給水車は、最大積載量2,000ℓで、加圧ポンプ機能を備えており、地震や風水害などの自然災害や、緊急断水時に迅速に対応するため、また、全国各地で大規模な災害が発生いたしました際の援助活動に活用してまいります。

水道事業の経営状況であります。給水人口の減少や節水意識の高まり、節水器具の普及などによ

り、給水収益が減少しており、大変厳しい状況となっております。

このような状況のなか、平成25年度においては、凝集沈澱池汚泥掻寄機更新工事、急速ろ過電気機械室補機類更新工事、また、漏水事故が多発しております町道相野口永田線配水管布設替工事などを実施いたしまして、水道施設の基盤整備を進めながら、有収率の向上や老朽化、耐震化対策を進めてまいります。

また、今後の水道事業の目指すべき方向性を明らかにする水道基本計画を策定してまいります。策定後は、この基本計画に沿って水道事業を効率的に進め、将来にわたり安定した運営を目指してまいります。

水道は、生活に欠かせない重要なライフラインであり、常に安全でおいしい水を供給しなければなりません。そのため、さらなる努力をしておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 子育て支援関係

子育て支援施策につきましては、「明るく元気な子どもを育て

えられるようにするため、65歳以上で一人暮らしの方を対象に「救急医療情報キット」の配布を行ってまいりましたが、平成25年度は、75歳以上の高齢者夫婦262世帯を対象に配布したいと考えております。

介護予防につきましては、平成24年度に引き続き、認知症予防事業といたしまして、音楽と運動を取り入れた「さほう・まちかどエクササイズ」を実施いたします。貯筋運動や料理教室、歯周病検診など、「運動機能向上、栄養改善・口腔機能向上」の3つの柱を中心に、介護予防を気軽に楽しみながら、誰でも参加できる場づくりと、きめ細かい訪問指導を積極的に行ってまいります。

## 健康づくり関係

健康づくりにつきましては、各自の生活行動や健診受診などの自己管理が重要なことから、各種健診事業に対する普及啓蒙や受診啓発、情報提供を積極的に進めてまいりたいと考えております。

乳幼児から高齢者までのだれもが健康でいきいきと安心して暮らせることを目指し、行政が住民意

「まちづくり」の実現を目指して、引き続き推進してまいります。

平成24年7月に設立いたしました「ファミリーサポートセンター事業」についてであります。子育ての手助けが必要な方が、気軽に安心して利用できるよう、平成25年度から利用助成制度を実施し、利用者の負担軽減を図ってまいります。併せて、サポート会員の拡大にも取り組みながら、子育てと仕事の両立ができる支援体制の充実に努めてまいりたいと考えております。

医療費助成制度につきましては、子どもを持つご家庭の経済的軽減を図るため、平成25年度から助成対象範囲の拡大を行ってまいります。子ども医療費助成対象者を現行の「小学校卒業まで」から「中学校卒業まで」に拡充してまいりたいと考えております。

核家族化や地域でのつながりの希薄化が進むなか、子育てへの不安や悩みを抱える保護者が気軽に相談できるよう、子育て支援センターを拠点に、保健師や保育士等とも情報を共有しながら、横断的な相談支援体制を充実させ、児童虐待や発育相談、ご家庭での育児不安や悩みなどを少しでも軽減できる体制づくりを行ってまいります。

識を高揚し、サポートを行い、体の健康、心の健康、栄養問題、運動機能の向上などの専門的指導を進め、福祉・教育機関等との連携を図りながら施策を推進してまいりたいと考えております。

疾病の重篤性が高い対象疾病予防といたしまして、「子宮頸がん予防ワクチン」、「ヒブワクチン」、「小児用肺炎球菌ワクチン」につきましては、昨年引き続き実施してまいりたいと考えております。

平成25年度には、新たに小児の感染率が高く、医療対応治療が多い「水ぼうそう」の接種事業を、子育て支援対策の一環で行ってまいりたいと考えております。

また、心の病気を起こして、うつ病に進んでいくケースが多く、現代病として大きな問題となっていることから、自殺予防を含めた心の問題につきましては、平成24年度に引き続きまして、三重県や専門機関と連携しながら、地域住民、支援関係者を対象に、正しい知識の普及啓発と地域全体で見守り、心の変化に気づく人材育成研修を行い、誰もが住みやすい地域づくりを行ってまいりたいと考えております。

台風第12号で被災された方や、心のケアが必要な方々に対しまし



子育て支援センター

## 高齢者福祉関係

高齢者福祉施策につきましては、「いつまでも地域で暮らせる元気と生きがいを育むまちづくり」の実現のために、「生活・介護支援サポーターてまりの会」や「高齢者地域見守り隊」などの地域資源を活用しながら、民生委員、社会福祉協議会などと連携いたしまして、地域での効果的な見守り体制を構築してまいります。

また、買い物困難地域の解消に向け、社会福祉協議会が運営する「福祉の店アプローチ」で、事業実施に向けた検討が進められております。「宅配サービス事業」につきましても、買い物支援施策の一環と

では、専門医や関係機関と連携しながら継続的な相談支援を推進してまいりたいと考えております。

平成25年度から、新たに県からの権限移譲といたしまして、未熟児への医療給付事務である養育医療給付の実施や、低体重児の届け出窓口の変更、未熟児訪問指導などを行うことになりましたので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 相野谷診療所

相野谷診療所についてであります。診察所は台風第12号被害の大きかった地域にあり、心や体に大きな影響を受けた方や高齢者が多いことから、健康づくり推進課や福祉課と連携を取りながら、地域の実情に合わせた訪問診療や訪問看護を行い、地域に愛され、ご利用いただける診療所にしてまいりたいと考えております。

また、生活習慣病やがん検診などの健診体制の機能充実と、健康づくりの予防や治療も含めた連携体制を取りながら、地域医療の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



高校生と共同で啓発活動を行う高齢者地域見守り隊

して必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

次に、包括的支援事業でありませんが、災害時の高齢者・要援護者対策につきましては、介護保険事業者等の関係機関とのネットワークの構築と、高齢者への啓発を行ってまいります。

また、「紀宝町災害見守り体制連絡協議会」と連携しながら、要援護者名簿の突き合わせ作業を行い、自主防災組織や防災関係機関等と情報を共有し、有効に活用できるよう、要援護者名簿の整理を実施してまいります。

緊急時、必要な情報が迅速かつ的確に救急隊員や病院関係者に伝

### 紀宝バイパス事業

紀宝バイパス事業につきましては、地域の皆様方のご理解、ご協力を賜っておりますこと、深くお礼を申し上げます。  
紀宝バイパスが整備されますと、現道との交通の分散による円滑な交通体系の構築や、規格の高い道路整備による利用者の安全・安心の確保、及び災害時における



2月5日に行われた行政関係者向けの紀宝バイパス見学会の様子

地域防災力の向上にもつながることが期待されております。

この紀宝バイパスの開通を契機とした取り組みといたしまして、平成24年12月から「紀の宝みなと市」を開催しております。町で生産される農林水産商品等を鶴殿港において朝市形式で販売すること、他地域から町内への集客を図り、地域活性化、地産地消を推進するなど、民と官が連携して元気なまちとにぎわいを創出しております。

また、平成25年度に開通するということもあり、本年2月に国土交通省と紀宝町で構成する「一般国道42号紀宝バイパス開通式典等実行委員会」を設立し、開通式典等に関する取り組みを進めてまいります。

今後も国土交通省と連携しながら、紀宝バイパスの早期完成を図られますよう努めてまいりますので、皆様方のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 近畿自動車道紀勢線新宮から熊野大泊間

「近畿自動車道紀勢線新宮から熊野大泊間」につきましては、

昨年、事業化に向けた計画段階評価が実施され、「社会資本整備審議会道路分科会中部・近畿地方合同小委員会」におきまして、「海側ルート」を基本として検討する対応方針案が妥当である」と判断されました。現在、国土交通省におきまして、検討を重ねていただいております。住民の悲願である新規事業化に向け、着実に一歩ずつ前進しております。

地域の皆様の切実な声を中央に届け、「命の道」、「自立の道」となる「近畿自動車道紀勢線新宮から熊野大泊間の早期事業化」を目指し、整備にあたりましては、熊野川河口大橋を最優先して工事着手していただきますよう、関係機関への働きかけを一層強めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

### 建設工事

産業建設課所管の平成25年度建設工事ですが、台風第12号災害復旧工事の発注を概ね終えたこともあり、これまで安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを基本目標として進めてまいりました「道整備交付金事業」につきま

では、町道倉本3号線新設工事を始めとする38路線、3億3,310万円を実施してまいります。

生活環境の向上や、災害に備えた防災機能の強化を基本目標に進めてまいりました、「社会資本整備総合交付金事業」につきましても、現在、工事を進めております波静橋架替工事や上野跨道橋耐震補強工事、15メートル未満の109橋の橋梁点検業務を実施してまいります。

また、本年1月16日に創設されました「地域の元気臨時交付金事業」につきましても、町道成川線排水路改良工事を始めとする6路線、西谷川護岸改修工事を始めとする6河川で実施してまいります。林道事業につきましては、「地域の元気臨時交付金事業」により、林道鮎田北松杖線の舗装工事等を実施してまいりたいと考えております。

### 農業振興

農業振興につきましては、平成24年度から国の施策として「青年就農給付金」事業が始まりました。主な内容は、45歳以下で親から独立し、農業経営主となった方に対し、

し、年間150万円を5年間支給するものであります。平成24年度には柑橋農家2名、水稲農家2名の方が新規に就農し事業の対象となりました。平成25年度も、新たに4名の新規就農者を見込んでおり、少しずつではございますが、地域に新しい芽が育ち始めてきたのではないかと感じているところであります。

今後も県の関係機関等と連携し、新規就農者が就農意欲をもつて継続的かつ安定的に農業経営に取り組んでいただけますよう、支援してまいります。

一方、年々高齢化や兼業等が進み深刻化しております「獣害対策」や「遊休農地問題」でありますが、国、県の補助事業等を十分に活用し、関係機関であります「猟友会」や「水稲農家組合」等と連携を図りながら、解消に向けて取り組んでまいります。

### 教育関係

教育関係につきましては、「紀宝町学校教育振興ビジョン」と「紀宝町社会教育振興ビジョン」に基づきまして、学校教育と社会教育

の両面から、今後も町内の教育を推進してまいります。

学校教育におきましては、児童生徒が安心して通える学校づくりを推進してまいります。成川小学校の新校舎が完成いたしましたことと、町内の全ての学校が耐震化されました。各校では、いじめ等がなく、子どもたちが楽しく登校できる学校づくりに、特色を出して取り組んでいるところであります。今日の厳しい社会状況を生き抜くために、町内の児童生徒の学力の向上を図っていかなければならないと考えております。

社会教育につきましては、町民の皆様の健康、生きがい、豊かな教養、実りある生涯教育の充実をさらに図ってまいります。

台風第12号の災害廃棄物の仮置場となっておりました「深田運動場」につきましては、今後、地元住民の皆様や関係者の皆様方のご意見を伺いながら、整備を進めてまいります。

また、念願でありました副読本の作成につきましては、学校の授業でも活用でき、一般の方々にも、「大昔の紀宝町から台風第12号で甚大な被害を受けた紀宝町」までの歴史を興味深く読んでいただける、「紀宝町の歩み」の印刷

製本の準備をしているところであります。

### 予算について

昨年12月の衆議院議員総選挙により、自由民主党と公明党が再度政権を担うこととなり、安倍内閣は、長引く円高・デフレ不況から脱却し、雇用や所得を拡大させ強い日本経済を取り戻すことが、内閣に課せられた最重要課題であると位置づけました。

そのために、大胆な金融政策、機動的な財政対策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」を、一体的かつ強力に実行するとし、1月11日に「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を閣議決定いたしました。

平成25年度一般会計予算につきましては、前年度比2.5%の増、当初予算といたしましては過去最大規模となる、92兆6,115億円を編成いたしました。また、緊急経済対策を盛り込んだ、10兆2,027億円の平成24年度補正予算を含めた、いわゆる「15か月予算」の考えのもと、日本経済の再生に全力で取り組むとしております。本町におきましては、国の予算

や関連法案の成立が確定しない不透明な時期のもとで、国の動向に注意を払い、情報の収集を行いながら、予算の編成に取り組んでまいりました。

平成25年度につきましては、前年度から引き続き、台風第12号災害の復旧・復興事業を最優先にしております。さらに、防災対策を強力に推し進めるとともに、国の平成24年度補正予算に盛り込まれた、地域の元気臨時交付金を活用し、本地域の経済活性化等に寄与してまいりたいと考え、今回の平成24年度補正予算、及び平成25年度当初予算に反映させていただいております。

なお、その他の歳出におきましては、重要度や緊急度が特に高いもの、地域からのご要望に必要があるものなどを選択するなど、可能な限り支出の削減に努め、町債につきましては、地方交付税措置の厚い地方債を優先的に充当して、将来への負担軽減を図るなど、今後の町財政への影響を見据えた編成を行ったところでございます。

※予算については、次回発行の広報きほう5月号で紹介させていただきます。

がんを早期に発見するために

## 乳がん・子宮頸がん検診の検診費用を一部助成

現在日本では、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡しています。がんを早期に発見し、治療に結びつけることがとても大切です。そこで町では、乳がんと子宮頸がんの医療機関での検診に対し、下記のとおりその費用を一部助成します。この機会にぜひ受診してください。

### ◆対象者・受診可能医療機関・自己負担額など（要予約）

がん検診の種類	対象者	自己負担金	受診可能医療機関	電話番号	受診可能期間
乳がん検診	40歳以上の 紀宝町の住民の方	2,500円	紀南病院 (土曜日不可)	05979-2-1333 地域連携室まで	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
			要外科・内科医院 (土曜日不可) ※1	0735-22-5191	平成25年5月1日～ 平成26年3月31日
子宮頸がん	20歳以上の 紀宝町の住民の方	2,000円	紀南病院 (土曜日不可)	05979-2-1333 地域連携室まで	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
			大石産婦人科医院	0597-89-1717	
			和田産婦人科医院 (午前中のみ)	0597-85-3668	
			矢島産婦人科医院 (土曜日不可)	0735-22-2337	平成25年5月1日～ 平成26年3月31日
			いずみウィメンズ クリニック	0735-21-0311	

※1 要外科・内科医院を受診される方は、受診に依頼書が必要なため、保健センターまでご連絡ください。  
備考・予約の際、医療機関へ「紀宝町のがん検診希望です」とお伝えください。  
・町が実施する各がん検診は、個別検診と集団検診を含めて、年度内1人1回とさせていただきます。  
・今月号に折り込んでいます『平成25年度がん検診カレンダー 保存版』に集団検診の情報も掲載しています。

### ◆持参物品

- ・紀宝町の住民であることを証明できるもの（保険証、運転免許証など）
  - ・自己負担金
  - ・要外科・内科医院を受診される方は依頼書
- ▶詳しくは、保健センター（☎32-3700）までお問い合わせください。

平成25年4月1日から

## 「子ども医療費助成制度」の対象を中学3年生までに拡大

町では、子育て支援の一環として、平成25年4月1日から「子ども医療費助成制度」の対象を小学6年生から中学3年生までに拡大します。

新たに対象となる方には、すでにご案内しましたが、福祉医療費受給資格の取得には保護者の方による申請が必要です。まだ申請がお済みでない方は、至急申請してください。

なお、4月1日から中学1年生となる方については、受給資格の申請手続きは必要ありません。  
▶詳しくは、役場福祉課（☎33-0339）までお問い合わせください。

### ◆「子ども医療費助成制度」とは

病院・調剤薬局等を利用した場合、保険の効くものについて支払われた金額を後日助成する制度です。中学3年生までの子ども(15歳年度末まで)が対象となります。

### ◆資格認定の申請に必要なもの

- ・お子さんの健康保険証（コピー可）、振込先の分かるもの
- ・平成24年1月1日以降に紀宝町に転入された方は、保護者の所得課税証明書も必要です。

40歳以上の方が対象

## 胸部（結核・肺がん）検診・大腸がん検診を受けましょう

平成25年度「胸部（結核・肺がん）検診」を右記の会場で実施します。40歳以上の方全員に、4月下旬に日程表と受診票を送付しますので、ご確認ください。  
また、「大腸がん検診」も合わせて実施しますので、ぜひ受診してください。  
申し込みは不要です。

### ◆胸部（結核・肺がん）検診

～レントゲン車によるX線検査～

#### 【対象】

- 40～64歳：肺がん検診
- 65歳以上：結核と肺がん検診

#### 【料金】 無料

#### 【備考】

①どの会場で受診していただいても構いません。②受診当日に受診票を持ってお越しください。

### ◆大腸がん検診

～2日分の排便による検査～

#### 【対象】 40歳以上

#### 【通知】

個人通知はありません。ただし、満40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の年齢の方には個人通知します。5月初旬に無料受診クーポン券と排便容器を送付します。

#### 【料金】 検査負担料200円

(70歳以上と無料クーポン対象者は無料)

#### 【容器】

- ・容器の配布期間  
4月25日(木)から6月9日(日)まで
- ・容器の配布場所  
保健センター、相野谷診療所、役場福祉課、各検診会場
- ・検体(便)の提出期間  
5月10日(金)から6月13日(木)まで
- ・検体(便)の提出場所  
保健センター、相野谷診療所、各検診会場

▶詳しくは、保健センター（☎32-3700）までお問い合わせください。

### 胸部（結核・肺がん）検診と大腸がん検診の日程

月/日	会場	受付時間
5月10日 (金)	鶴殿ふれあい会館	9:00～10:30
	飯盛多目的集会施設	11:10～11:50
	上野つどい館	13:20～14:40
5月13日 (月)	下桐原バス停横	9:00～9:40
	阪松原生活改善センター	10:10～10:40
	紀宝町役場 駐車場	13:00～14:20
5月14日 (火)	中村多目的集会施設	9:00～9:40
	下地生活改善センター駐車場	10:30～11:20
	下り場集落センター	13:20～13:50
5月15日 (水)	茶屋地構造改善センター	14:20～14:50
	小畑就業改善施設	9:00～9:20
	永田青年クラブ前	9:40～10:10
5月21日 (火)	大里多目的集会施設	10:40～11:30
	相野谷診療所 駐車場	13:00～13:20
	平尾井高齢者生産活動センター	13:50～14:30
5月23日 (木)	浅里生活改善センター	9:10～9:30
	北松杖多目的集会施設下	10:00～10:20
	鮎田構造改善センター	11:00～11:40
6月9日 (日)	上地多目的集会施設	13:20～13:50
	高岡和田地バス停前	14:30～14:50
	井田公民館	9:00～9:50
5月23日 (木)	井田小学校 体育館前	10:20～10:50
	まなびの郷(玄関前)	13:00～14:50
6月9日 (日)	保健センター(神内)	9:00～11:00
	紀宝町役場 駐車場	13:30～14:50

### 容器の配布・提出について

場所	配布時間		提出時間	
	期間	時間	期間	時間
保健センター	4/25～6/9	8:30～17:15	5/10～6/13	8:30～17:15
相野谷診療所	4/25～6/9	9:00～17:00	5/10～6/13	9:00～17:00
役場福祉課	4/25～6/9	8:30～17:15	5/10～6/13	×
検診会場	4/25～6/9	上記の各会場どおり	5/10～6/13	上記の各会場どおり

※検診会場以外の施設は、土・日・祝日は休みです。

# 住まいの再建・修理を支援します

(紀宝町被災者住宅復興資金貸付金利子補給事業)

## ◆対象者

次の条件をすべて満たす人に、借入金の利子に対する補助を行います。

- ◎平成 23 年 9 月の台風第 12 号で被災した住宅の再建を必要とする人
- ◎罹災日から 2 年経過日までに住宅金融支援機構の災害復興住宅融資、またはそれ以外の金融機関で住宅復興資金の融資を受け、町内で自らが居住するための住宅の建設・購入・補修をする人
- ◎「罹災証明書」の発行を受けた人

## ◆対象建物

自らが居住し、延べ面積の過半の部分が住宅用に供されている住宅

## ◆補助期間

対象となる資金の借り入れの日から 5 年間

## ◆対象借り入れ限度額

- ①住宅の建設・購入（新築）
  - 【耐火・準耐火等】・・・1,460万円
  - 【木造】・・・1,400万円
- ②住宅の購入（中古）
  - 【耐火・準耐火等】・・・1,160万円
  - 【木造】・・・950万円
- ③住宅の補修
  - 【耐火・準耐火等】・・・640万円
  - 【木造】・・・590万円

## ◆補助金額

借入金の償還条件によって算出した 5 年間の利子総額に 3 分の 2 を乗じた額。

## ◆申請期限

平成 26 年 3 月 31 日まで

▶詳しくは、役場産業建設課（☎33-0336）までお問い合わせください。

# 被災代替住宅の固定資産税を減額します

(被災代替住宅に対する固定資産税の減免)

平成 23 年台風第 12 号により被災した住宅の所有者が、その住宅の代わりとして新たに住宅を取得した場合、住宅にかかる固定資産税の全額が 3 年度分免除となります。

## ◆対象者

罹災証明書の判定が「全壊」、「大規模半壊」、「半壊」である被災住宅（台風により滅失し、または損壊を受け解体や売却等の処分をした住宅）の所有者。他市町村で被災し、紀宝町に新たに住宅を取得した方も対象となります。

## ◆対象家屋

被災住宅の代わりとして平成 23 年 9 月 2 日から平成 28 年 9 月 1 日までに取得した住宅。住宅以外の建物（店舗・倉庫等）は対象となりません。併用住宅の場合は住宅部分のみ対象となります。

## ◆申請期限

毎年納期限（5 月末）の 7 日前までに申請書を提出してください。

## 【注意】

被災後、平成 23 年中に住宅を取得し、平成 24 年度から課税されている方も対象となりますので、申請してください。

▶詳しくは、税務住民課固定資産税係（☎33-0337）までお問い合わせください。

65 歳以上の高齢者の方が対象

# 肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成しています

高齢になるほど肺炎にかかる確率が高くなります。なかでも肺炎球菌によるものが多く、特に、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、慢性腎不全、肝臓病、糖尿病等のある方はかかると重症化しやすくなります。

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎の発症や重症化を予防するもので、一度接種すれば 5 年以上免疫を得られるとされています。町では、この肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を助成しています。この予防接種は義務ではありませんが、この機会にぜひ受診してください。

## ◆対象者

接種日において紀宝町に住所を有する 65 歳以上の方で、今までに肺炎球菌ワクチンの助成を受けたことがない方。

※平成 25 年 4 月から、肺炎球菌感染の危険度が高い（主治医が認めた者）者という条件がなくなります。

## ◆助成額

接種費用の 2 分の 1 の額（上限 4,000 円、1 人 1 回限りです。）

▶詳しくは、保健センター（☎32-3700）までお問い合わせください。

## ◆助成手続き（手続きの流れ）

- 1) 医療機関に「紀宝町肺炎球菌予防接種費用助成申請書兼請求書（①）」を提出。（接種前に用紙をお送りしますのでご連絡ください。）
- 2) 医療機関で予防接種費用の支払い。（全額）その際、領収書のコピー（②）（肺炎球菌ワクチン予防接種費用とわかるもの）と健康手帳への記録が予防接種済証（③）をもらってください。
- 3) ①、②、③の書類を持参して、保健センターまたは役場福祉課へ申請してください。

愛犬のためにあなたのできること

# 狂犬病予防注射と畜犬登録のお知らせ

犬を飼っている方は、その犬の登録と毎年 1 回の狂犬病予防注射を行うことが義務付けられています（狂犬病予防法）。

平成 25 年度の狂犬病予防注射および畜犬登録を右記のとおり実施しますので、この機会をご利用ください。また、犬の死亡、飼い主の住所・氏名が変わったなど登録事項が変更になったときは、届け出をお願いします。

## ◆対象 生後 91 日以上の飼い犬

## ◆料金（1 頭あたり）

【登録済の犬】 **3,200円**  
（注射料 2,650 円 + 注射済票 550 円）

【未登録の犬】 **6,200円**  
（注射料等 3,200 円 + 登録料 3,000 円）

※なるべくおつりのいらないよう、ご用意ください。

▶詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

## 狂犬病予防注射実施日時

日程	時 間	場 所
4 月 11 日 (木)	8:50 ~ 9:05	桐原生活改善センター
	9:15 ~ 9:25	阪松原生活改善センター
	9:35 ~ 9:45	平尾井生産活動センター
	9:55 ~ 10:10	大里多目的集会施設
	10:20 ~ 10:30	旧 J A 高岡出張所前県道
	10:45 ~ 11:00	鮎田構造改善センター
	11:10 ~ 11:15	北椏杖多目的集会施設
	11:30 ~ 11:35	旧 J A 浅里出張所前
	13:10 ~ 13:35	役場分庁舎駐車場（成川）
	13:45 ~ 14:20	飯盛多目的集会施設
4 月 12 日 (金)	14:30 ~ 15:00	神内構造改善センター前
	9:10 ~ 9:30	下り場駐車場
	9:40 ~ 10:20	井田公民館
	10:30 ~ 11:05	上野つどい館
11:15 ~ 11:35	長谷地区集会所	
13:15 ~ 13:50	鶯殿駅前自転車置場前	
14:00 ~ 14:25	役場本庁舎裏	

加熱するとき、火力が強すぎると、なべ底から炎がはみだした部分が無駄になります。火力が弱すぎても時間がかかってしまいます。

炎はなべ底からはみださないよう調節しましょう。なべ底は丸いものより平たいもののほうが効率よく熱を伝えます。また、なべ底の水滴はふき取ってから火にかけるようにしましょう。



**炎がなべ底からはみださないように**  
水1ℓ（20℃程度）を沸騰させるとき、強火から中火にした場合



【出典：財団法人省エネルギーセンター／家庭の省エネ大事典】

**ワンポイントアドバイス**

**◆なべにはふたをする**

火にかけるとき、ふたをする熱が逃げるのを防ぎ、時間とエネルギーの節約になります。また、煮物などを調理するときは落としふたをすれば調理時間の短縮になります。

▼詳しくは、役場環境衛生課 ☎ 33-03338(まで)お問い合わせください。

シリーズ ストップ地球温暖化 その⑧

**家庭ですることができる温暖化対策**

〜できることから始めよう〜



シリーズ 浄化槽 ～きれいな川を 未来に残そう～ その⑧

今月のテーマ

**法定検査を毎年受けましょう**

浄化槽の維持管理には、保守点検・清掃（くみ取り）・法定検査が欠かせません。

なかでも、毎年1回、受けていただいている法定検査は、浄化槽がきちんと維持管理され、正常に機能しているかを調べる大切な検査です。

**法定検査は必ず年1回受けましょう**

法定検査には、「設置後の水質検査（7条検査）」と「年一回の定期検査（11条検査）」があります。

なかでも、定期検査は、毎年1回行う、いわば浄化槽の健康診断のようなものです。

法定検査は、保守点検とは目的や作業内容が異なり、浄化槽管理者（個人設置型の場合は個人、市町村設置型による町営浄化槽整備推進事業の場合は、管理者は町となります。）が保守点検業者と委託契約をしても、指定検査機関による法定検査は必要です。

「定期検査（11条検査）」は、管理者の責任として定められている保守点検や清掃がきちんと実施されているか、浄化槽の機能が正常に発揮されているかどうかを調べるもので、毎年1回定期検査を受けることが、浄化槽法でも義務付けられています。

三重県の場合、三重県知事の指定を受けた一般財団法人三重県水質検査センターが、BOD分析などの法定検査を実施しています。

**鵜殿地区の法定検査は4月～5月に実施**

町内の鵜殿地区の法定検査は、4月～5月に実施する予定です。

法定検査の実施時期が近づくと、法定検査の案内が届きますので、案内文書が届いたら日程を調整して、必ず検査を受検しましょう。

なお、紀玉町営浄化槽整備推進事業で設置された浄化槽および同事業で寄付採納扱いとなっている浄化槽に

については、設置月や寄付採納月によって検査月が異なりますので、鵜殿地区であっても、4月に実施されるのは限りません。紀玉町下水道サービス(株)が作成した管理スケジュールでの法定検査受検となります。ご協力よろしくお願ひします。

▼詳しくは、役場環境衛生課 ☎ 33-03338(、または三重県水質検査センター ☎ 59-213-0707)までお問い合わせください。



INTERVIEW

三重県水質検査センター 検査員 坪田 伸輔 さん  
Tsubota Shinsuke

いつも法定検査にご協力をいただきありがとうございます。ごとうざいます。

法定検査は、みなさんのご家庭の浄化槽がきちんと機能し、良好な水質が保たれているかを確認する大切な検査です。

もし検査当日に不在の場合は、「法定検査のご案内」の下部にある氏名欄に署名・押印の上、保守点検や清掃の記録票と一緒に玄関先など目につきやすいところにおいていただくと、検査を行うことができます。ご協力をよろしくお願いいたします。

お住まいの近くで、役場業務が利用できます

**移動支所をご利用ください**

表① 4月の移動支所開設日程 ピンク色は、移動図書館も開設

開設日	会場	開設時間
月曜日	1日 桐原生活改善センター	9:00~10:15
	8日 平尾井高齢者生産活動センター	10:30~11:45
	15日 大里多目的集会施設	13:30~14:45
	22日 上野農事集会所	15:00~16:15
火曜日	2日 浅里生活改善センター	9:00~10:15
	9日 北松杖多目的集会施設	10:30~11:45
	16日 中村多目的集会施設	13:30~14:45
	23日 30日	
水曜日	3日 阪松原生活改善センター	9:00~10:15
	10日 永田青年クラブ	10:30~11:45
	17日 井田公民館	13:30~14:45
	24日 地下集会所	15:00~16:15
木曜日	4日 上地多目的集会施設	9:00~10:15
	11日 下地生活改善センター	10:30~11:45
	18日 茶屋地構造改善センター	13:30~14:45
	25日 下り場集落センター	15:00~16:15
金曜日	5日 高岡老人憩の家	9:00~10:15
	12日 19日 鮎田構造改善センター	10:30~11:45
	26日	

**町内17か所で開設しています**

住民票の発行業務などを郵便局に委託するとともに、さらなる住民サービスの充実を図るため、町職員が町内17か所に出向いて、移動支所を開設しています。(表①移動支所開設日程をご覧ください)

お住まいの近くで、役場業務が利用できますので、ぜひご利用ください。

**移動支所の業務内容**

住民票、印鑑証明、納税証明書などの申請受付事務(交付は後ほど、郵送か職員が直接お届けします)や、町税、国民健康保険税の収納事務、役場への各種届け出事務などを受け付けます。

▼詳しくは、役場税務住民課 ☎ 33-03337(まで)お問い合わせください。

# Books 図書館だより

今月のおすすめ図書 テーマは“絵本作家 川端 誠さん”



鶴殿図書館  
岸司書

# Books



## 鳥の島

川端 誠 / 作  
BL出版

絵本職人ともいわれる川端誠さんのデビュー作。紙粘土から手作りし、時間をかけて作りあげた魂のこもった渾身の1冊。



## いちごです

川端 誠 / 作  
文化出版局

いちごがおいしい季節に読みたい絵本。絵本の最後に作者おすすめのおべつがのっています。はたしてそれはいったい…。



## さくらの里の風来坊

川端 誠 / 作・絵  
BL出版

落語絵本でおなじみの川端誠さんの、これぞまさしく本格時代劇絵本！おじいちゃん、おばあちゃんも楽しめる1冊です。



## 地球をほる

川端 誠 / 作  
BL出版

川端さんの最新作！今度は何と地球をどんどん掘り進んでいくお話です。奇想天外なしなげ、英文併記のグローバルな1冊。

## スペシャルおはなし会 4月27日(土)

0歳児：午前10時～10時半  
1歳以上：午前11時～11時半  
3歳以上(小学生含む)：午後1時半～3時



- ◆ 鶴殿図書館 (☎32-4646)
- ◆ 利用時間：9:30～18:00
- ◆ 休館日：毎週月曜日・祝日・毎月最終木曜日

◆ **スペシャルおはなし会**  
4月23日(火)は「子ども読書の日」です。図書館では、この日に関連して、4月27日(土)に「スペシャルおはなし会」を開催します。どうぞお楽しみに。たくさんのご来場をお待ちしております。  
また、4月23日(火)～5月12日(日)は「こどもの読書週間」です。期間中、恒例の読書クイズや、おすすめの絵本、児童書を展示しますので、どうぞご利用ください。

# Police 紀宝警察署 からのお知らせ

## 春の全国交通安全運動

1. 期間  
4月6日(土)から4月15日(月)
2. 運動の基本  
子どもと高齢者の交通事故防止
3. 運動の重点  
○自転車の安全利用の推進  
○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底  
○飲酒運転の根絶

4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」

紀宝警察署 (☎33-0110)

# Resources ごみは資源 のコーナー

## 家庭用粗大ごみ(春)の戸別訪問収集が始まります！

4月から、家庭用粗大ごみの戸別訪問収集が始まります。地区によって申込日や収集日が異なりますので、ご注意ください。詳しくは、今月号に折り込まれているチラシをご覧ください。



ごみ博士 タカミヤ たくみさん

### ワンポイント♪

粗大ごみを出す際には、ごみに「粗大ごみ」と大きく張り紙をし、玄関前など分かりやすい場所に置くようにお願いします。

役場環境衛生課 (☎33-0338)

# Quiz 広報クイズ

## 【問題】

- ①被災代替住宅の〇〇資産税を減額します
- ②家庭用粗大ごみの〇〇訪問収集が始まります
- ③むし歯菌は〇〇する
- ④歩いて健康“〇〇歩大会”
- ⑤ふれあい農園の〇〇者を募集!!

◆ **応募資格**  
紀宝町内に在住の方

◆ **応募方法**  
ハガキかメール (koho@town.kihog.jp) で、クイズの答え5問分(○の中に入る数字や文字)と、住所、氏名、年齢、電話番号、町や「広報きほう」についてのひと言を書いて、役場企画調整課 広報係 (〒519-5701 紀宝町鶴殿324) まで応募してください。正解者の中から、抽選で5名の方に、右写真の「町の特産品」をお贈りします。

◆ **締め切り**  
4月15日(月)必着 (当選者の発表は、来月号のこのコーナーで)

■ **3月号の正解**  
①成川 ②支援 ③清掃  
④資源 ⑤給水車

■ **3月号当選者**  
● 応募総数24通・正解者23人  
● 賞品は「セミノール」  
● 仲由美子さん(鮎田)  
● 奥早苗さん(井田)  
● 山崎紅美さん(神内)  
● 奥田梨香さん(鶴殿)  
● 木和田洋子さん(鶴殿)

▼ 詳しくは、役場企画調整課 広報係 (☎33-0334) までお問い合わせください。



koho@town.kihog.jp

4月号の当選者へは



紀宝梅 (品種は、南高梅)  
※写真はイメージです。

抽選で特産品が当たります！

今月のテーマ

# ファミサポをご利用ください

Family support



ここに子育て♪ みんなでサポート

紀宝町ファミリーサポートセンター、通称「ファミサポ」をご存知ですか？

ファミサポは、子育てを助けてほしい人(依頼会員)の要望に応じて、子育てのお手伝いができる人(サポート会員)を紹介し、地域で子育てをサポートしていく会員組織です。次のようなときには、お気軽にファミサポをご利用ください。

- ◆ 美容室や買い物、病院などに行きたいので子どもを預けたい
- ◆ 上の子の保育所行事のため下の子どもを預けたい
- ◆ 残業などで保育所の迎えと預かりをお願いしたい
- ◆ 塾の送迎をお願いしたい
- ◆ 下の子の健診の時に、上の子を預けたい など

## 利用料が安くなりました

平成25年4月からファミサポの利用料金が300円安くなり、利用しやすくなります。

基本預かりの場合(1時間あたり)

時間	平日	土日祝
9:00～17:00	400円	600円
6:00～9:00	500円	700円
17:00～22:00		

- ※緊急で軽度の病児・病後児の預かりの場合は、基本預かりの料金に100円が上乗せされます。
- ※料金は、依頼会員がサポート会員に直接支払います。子どもの送迎の際にかかった費用は、実費を支払ってください。
- ※サポート会員には、1時間あたり300円が町からサポート活動料として助成されます。

共働きの家庭はもちろん、お家で育児をがんばっているお父さん・お母さんもお気軽にご利用ください。ファミサポを利用するには、事前の登録が必要です。特に利用する予定が

なくても、いざというときの「お守り」として、ファミサポにぜひ登録ください。  
▼詳しくは、紀宝町ファミリーサポートセンター(☎32-4308)までお問い合わせください。

# ロコモティブシンドローム

## 健

康日本21(第2次)では、「ロコモティブシンドローム」という言葉を認知している国民の割合を、現在の17・3%から10年間で80%まで増やすことを目標としています。健康日本21では、「メタボリックシンドローム」を認知している国民割合を80%とすることを目標として啓発に取り組んだところ、平成21年の調査では92・7%となりました。

まずは「ロコモ」という言葉を覚えてもらうことから始め、その危険性を知ってもらいたいと考えています。

### ◆ロコモの原因

#### ①運動器自体の疾患

加齢に伴う、さまざまな運動器疾患で、変形性関節症・骨粗鬆症に伴う円背・変形性脊椎症・脊柱管狭窄症・関節リウマチなどにより、バランス能力、体力、移動能力が低下します。

#### ②加齢による運動器機能不全

加齢により、身体機能は衰えます。筋力低下、持久力低下、反応時間の延長、運動速度の低下、巧緻性の低下、深部感覚低下、バランス能力低下などがあげられます。「閉

じこもり」などで、運動不足になると、これらの「筋力」や「バランス能力の低下」がより一層加速し、容易に転倒しやすくなるなど運動機能が著しく低下します。

### ◆ねたきり・要介護の原因はロコモ？

ロコモは、「メタボ」や「認知症」と並び、健康寿命の短縮やねたきり・要介護状態となる3大要因のひとつになっています。

痛みの発生には、身体活動・運動不足や体力低下などの生活習慣が関係していることがあります。

ロコモの正しい知識を知り、日常生活において積極的に体を動かすなど、ロコモの予防に努めましょう。



楽しく、おいしい 簡単料理 ♪ その67

今月のお料理

野菜をたっぷり巻いて♪

## 「海老とささみの生春巻き」

今回は手軽に食べられる、生春巻きをご紹介します。中に入れる食材は、海老や緑黄色野菜を使うと、切った時にきれいな色が出て、見た目にもおいしそうに仕上がります。また、今が旬のじゃがいもを使うのも良いですね。ささみは、鶏肉の中でも脂肪が少ない部位です。そのままではパサパサしがちですが、野菜やとろみのあるソースと一緒に食べることで食べやすくなります。



管理栄養士 寺澤博子

# Cooking



One Point Advice

お好みのドレッシングでどうぞ♪

### 【材料(2人分)】

- 生春巻きの皮 4枚
- 人参 1/3本
- レタス 4枚
- きゅうり 1本
- 鶏ささみ 大1本
- ゆでた海老 小12尾
- ドレッシング 大さじ2

### 【作り方】

- ①人参、きゅうりはせん切りにする。人参は耐熱容器に入れて、電子レンジで加熱し、あら熱をとる。鶏ささみはゆでて、手で細かく裂き、あら熱をとる。
- ②生春巻きの皮を水にサッとつけて戻す。手前にレタスと①を順に並べて巻き、途中で海老を3尾並べて最後まで巻く。
- ③食べやすい大きさに切り、器に盛る。

## Calendar

Health April Calendar

## 4月の健康カレンダー

### 元気塾(介護予防事業)

日	会場と開催時間
17日	成川生活改善センター (午前9時30分~11時)

※要予約: 詳しくは、紀宝町地域包括支援センター(☎33-0175)まで。

### 小さなボールを使った健康運動教室(介護予防事業)

日	会場と開催時間
4・18日	鶴殿地域交流センター (午前10時~11時)

※要予約: 詳しくは、紀宝町地域包括支援センター(☎33-0175)まで。

### 子どもとお母さん(会場 紀宝町保健センター)

日	内容と開催時間
23日	すくすく育児相談 (午前9時30分~11時30分)

※要予約: 詳しくは、保健センター(☎32-3700)まで。

### 4月の休日救急当直医

日	病院名	内科・外科
7日	山口クリニック	☎(31)8052 外科
14日	玉置整形外科	☎(22)6172 外科
21日	井畑医院	☎(31)7029 内科
28日	湊口医院	☎(31)6660 内科
29日	米良医院	☎(22)2710 内科
日・祝	紀南医師会 応急診療所	☎0597(88)1001 内科

※変更する場合がありますので、確認のうえ受診してください。  
※診療科目が異なる場合は、三重県救急医療情報センターコールセンター(☎0597-89-1199)にご相談ください。

## Dentistry

竹田歯科衛生士の歯の健康一口メモ その86

今日のテーマ

## むし歯菌は感染する

生まれたときには、口の奥にむし歯菌(ミュータンス菌)は存在しません。むし歯菌は、いつのまにか子どもの口の中に侵入して、むし歯をつくると考えられています。実はその感染源は母親など周囲の大人だといわれています。

具体的には、口移しの食事や、スプーンやコップを共有使用、離乳食を同じスプーンで味見、スキンシップのキスなどさまざまです。子どものために良かれと思っている行為が、子どもが将来むし歯になるリスクを高めてしまっているのです。

周囲の人の口の中のむし歯菌が少なければ、それだけ感染の確率も減ります。

家族みんなが、むし歯を治したり、正しい歯みがきを励行したり、キシリトールを摂るなど、日常からむし歯菌を減らしておく努力が大切です。

歯を大切にしようね





Town topics 表彰を受ける須川さん

2/28

## 国保事業の発展と健全運営に尽力 須川さんに国保連合会理事長表彰

歯科医師の須川洋一さんが、平成24年度三重県国民健康保険団体連合会理事長表彰を受賞され2月28日、町役場で三重県国民健康保険団体連合会常務理事から、表彰状などが手渡されました。

須川さんは、平成4年1月1日から保険医代表として紀宝町国民健康保険運営協議会委員を務め、合併後も引き続き同委員として、20年の長きにわたり国保事業の発展と健全運営のため尽力されました。また、同協議会においても、事業の運営に関する重要な事項を審議し、国保の安定的な運営に寄与されるとともに、住民福祉の向上に貢献されました。



クロマツを植樹する参加者

Town topics 2/24

## 七里御浜松林を守るために GG作戦でクロマツを植樹!!

七里御浜松林を守る協議会は2月24日、ウミガメ公園北側の国有林で「七里御浜防風林GG(グリーン・グロー)作戦」を実施しました。

美しい松林の保全を目的として実施したGG作戦には、地域住民や行政機関など約50人が参加。参加者たちは、マツクイムシに強い抵抗性があるクロマツ100本を丁寧に植樹し、植樹後は、参加者全員でゴミを拾い、海岸の清掃活動を行いました。

## 絵本の世界で子どもたちを魅了 絵本作家とよたさんが読み聞かせ

鶺鴒図書館は3月10日、「ももんちゃん」シリーズや「バルボンさん」シリーズなどで知られている絵本作家のとよたかずひこさんをお招きし、読み聞かせ会と講演会を開催しました。

午前中に行われた子ども向けの読み聞かせ会には、親子連れなど約70人が訪れました。とよたさんは、自作の絵本の中から、「はい、タッチ」「でんしゃがくるよ」「でんしゃにのって」などを読み聞かせ、訪れた子どもたちに語りかけながらページをめくっていました。子どもたちは、とよたさんのやさしい絵と穏やかな語り口に、夢中になって聞き入っていました。

また、午後からは、大人向けの講演会が行われました。



01



02

01. 絵本を読み聞かせるとよたさん。02. 絵本の世界に夢中な親子連れ。03. 「バルボンさん」シリーズの誕生秘話を話すとよたさん。

Town topics 3/10



03



02



01

Town topics 3/3

01. ももの会。02. 紀宝スポーツクラブ。03. 日本民謡 御舟会。04. 友茂会。05. 日本民謡 ころしお会。



05



04



03

## 民謡やダンスなどを披露 芸能フェスティバル開催!!

紀宝町文化協会は3月3日、まなびの郷で芸能フェスティバルを開催しました。昨年10月に続き、今年度2度目の開催で、民謡やレクダンスなど15団体が日ごろの練習の成果を発表しました。

日本民謡ころしお会による民謡を皮切りに、詩吟や詩舞、社交ダンス、日本舞踊などが披露され、紀宝スポーツクラブの新体操では、かわいい子どもたちがフープを使って踊りをみせ、来場者からは大きな拍手が沸き起こっていました。



06



10



09



07



08

06. 三音会。07. 紀宝スポーツクラブ。08. 亀甲会。09. 民謡 若葉会。10. 亀甲会。



表彰された川上さん（左）と杉本さん

Town topics  
3/12

## 長きにわたる功績が認められ 消防庁長官表彰を受章!!

平成24年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」の伝達式が3月12日、町役場で行われ、受章した紀宝町消防団の第1分団長・川上辰哉さんと第2分団部長・杉本光生さんに町長から章記と徽章が伝達されました。

川上さんは昭和58年1月の入団以来、30年間以上、杉本氏は昭和53年1月の入団以来、35年間以上の長きにわたり職務に精励され、施設点検や団員の教育指導など、その勤務成績が優秀であり、他の模範であることが評価され今回の受章となりました。



ウォーキングを楽しむ参加者

Town topics  
3/10

## 心と体を健やかにするために 歩いて健康 “一万歩大会”

町は3月10日、鵜殿地区を歩く“一万歩大会”を実施しました。

これは、歩くことで、町民のみなさんの心と体を健やかにするとともに、健康増進に関心を持ってもらおうと企画されたもので、52人が参加しました。

福祉センターをスタートした参加者たちは、烏止野神社、鵜殿城跡、熊野川河口、鵜殿港までの道のりを往復し、歴史と文化、そして春を感じながらウォーキングを楽しんでいました。希望者には、血糖値の測定も行われ、健康づくりに対し、運動の大切さを再認識していました。



消防職員から心肺蘇生法を学ぶ参加者

Town topics  
2/24

## 子どもの預かりに必要な知識を身につけるため ファミサポが講習会を開催!!

紀宝町ファミリーサポートセンターは、2月16日から4日間、サポート会員講習会を行いました。

これは、サポート会員として活動したい方に対して、子どもの預かりに必要な知識を身につけてもらうために行ったもので、参加者は、子どもを中心とした遊びや看護、発達などについての講習を受けました。

訪れた2月24日の講習会では、幼児の救急法について熊野市消防本部紀宝分署職員の指導のもと、参加したサポート会員希望者や子育て関係者など23名が、幼児・乳幼児の心肺蘇生法やAEDの使用方法などを学び、真剣な面持ちで実習していました。



02



01

Town topics

2/17



03

01. 午前9時に三重県庁前をスタートした第1走者の選手たち。02. 紀宝町を代表する駅伝ランナーたち。03. 区間新記録で区間賞（町の部）を受賞した高見澤選手。

タスキをつないで力強く駆け抜ける

## 美し国駅伝で、区間賞を出すなど健闘

早春の伊勢路を県内29市町の代表選手が駆け抜ける「第6回美し国三重市町対抗駅伝」が2月17日、津市の県庁前から伊勢市の県営総合競技場を結ぶ10区間、42.195kmのコースで行なわれました。

紀宝町チームは、第9区の高見澤安珠選手が区間新記録で区間賞（町の部）を受賞する快走をみせるなど、全選手がタスキをつなごうと力強く駆け抜けた結果、町の部で12位、総合25位と健闘しました。高見澤選手は、「区間賞を受賞できとてもうれしいです。来年は市の部も含めて区間賞を受賞出来るようがんばりたいです。」と話していました。



04



03



01

ダンスにバザーにもりだくさんのイベント

## 社協つれもてまつり開催!!

第7回社協つれもてまつりが2月24日、福祉センターで「広げよう 出あい ふれあい ささえあい」をテーマに行われ、町内外から約1,000人が来場し、にぎわいを見せました。

プリティエンジェルスによるかわいいダンスで開幕し、会場では、バザーやゲーム、人権啓発などさまざまなブースが並び、たこ焼きややきそばなどの「食のコーナー」には行列ができていました。

施設内では、気象予報士の正木明さんによる防災講演会「防災は自助・互助・協働のまちづくり」が行われました。

Town topics

2/24



02

01. にぎわいを見せたイベント会場。02. 人形劇どもならんの方が披露した腹話術。03. 食のコーナーには長蛇の列が。04. オープニングを飾ったプリティエンジェルス



地庵 僚馬 くん (鶺殿)

平成22年4月23日生まれ  
新吾さん&麻里子さんの長男

こんにちは、りょうまです。電車や働く車が大好きで、見かけるたびに教えてくれてありがとう。お姉ちゃんのこと大好きで、いつも仲良く遊んでいるのを見るのがママは好きです。変な顔をして笑かしてくるのも楽しいです。…ママから



前田 晴哉 くん (成川)

平成22年4月12日生まれ  
稔和さん&あゆみさんの長男

いつも元気いっぱい晴哉です。お話するのが大好きで、最近では、その日に起こった出来事を話してくれます。これからも楽しみにしています。4月からは保育所に行くからドキドキワクワク。いろんなことを吸収して大きく育ててね♪…お母さんから

▶満3歳の誕生日を迎える子ども(平成22年6-7月生まれ)を募集しています。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は4月30日(火)まで。



感謝の気持ちを忘れずに

谷口 友香 さん (井田)  
(旧姓芝)

変わらない毎日を送っている、自分のおかれている環境も周りの人たちの存在も当たり前になっ  
てしまっていて、なんかいいこと  
ないかなあ…なんて思ったりし  
てしまいます。

たとき、変わらない毎日を送れて  
いることが幸せに思えます。  
私は1月に、初めての入院、手  
術を経験しました。手術とはいっ  
ても簡単なもので、時間も短く、  
異常なければ翌月には退院でき  
るとのことでした。大丈夫!!大

PROFILE

たにくち ともか さん

3月に結婚されて、新しい生活を始められた谷口さん。「新しいつながりを大切にしていきたいです♪」と話していました。



丈夫!!と思いつつも、もし悪  
かったら…とか考えてしまい不  
安でした。気持ちが落ち着かず、  
へこんだり、イライラしたりし  
て、周りの人に気を遣わせてい  
たと思います。

でも、職場の人が働きやすい環  
境を作ってくれたり、友達が励ま  
してくれたり、家族がそばにい  
てくれて、すごく助けられました。  
不安な時、当たり前にはおぼえて  
くれる人の存在ってこんなに大き  
いんやなって改めて思いました。

「感謝の気持ちを忘れずに」中  
学生の時、先輩が書いた作文です。  
10年以上経った今でも、とても印  
象に残っていて、この言葉がきっ  
かけで、普段から人とのつながり  
を大切に、感謝の気持ちを忘れず  
に気をつけようと思うようになりました。でも、気をつけているつ  
もりですが、毎日の生活の中で忘

れがちになってしまっていて。反  
省して…、気をつけて…の繰り返し  
です。あれから10年以上経ち、  
少しずつでも成長できているとい  
いのですが。今回のことがまた考  
えるきっかけになりました。

私自身、春から新しい生活が始  
まります。また、たくさんのつな  
がりが増え、みなさんにお世話に  
なると思いますが、感謝の気持ち  
を忘れず、お付き合いさせていた  
だきたいと思っています。

この場をおかりして、いつもま  
わりについてくれる皆さん、本当に  
ありがとうございます。そして、  
これからもよろしく願っています。

5月号は鶺殿の福田菜月さんで  
す。谷口さんからは「いつも甥っ  
子、姪っ子がお世話になっていま  
す。ありがとうございます。」

柔道を始めて20年!!

田尾 好崇 さん (神内・25歳)

◆お仕事は?

熊野市立入鹿中学校で、講師  
として保健体育と技術を教えてい  
ます。生徒たちの成長を間近で  
見ることができるところに、や  
りがいを感じています。

◆趣味は?

柔道です。もう20年間やって  
います。紀宝柔道スポーツ少年  
団で習い始め、高校は北海道、  
大学は東海大学へ行って、柔道  
をしていました。今もまだ鍛え  
ながら、小中学生に対して指導  
も行っていきます。

◆理想のタイプは?

やさしくて、笑顔が素敵な人。

◆旅に行くとしたら?

第2のふるさとである北海道に  
行きたいです。高校時代の友達も  
たくさんいますので。

◆将来の夢は?

やはり、教員採用試験に合格す  
ることが目標です。

◆町の好きなところ

高校から地元を離れていたの  
で、離れたからこそ初めて知った、  
紀宝町の人の温かさや地域の絆が  
強いところですね。





# 4月号

## 町の人口 - population -

平成25年2月末現在(前月比)	
人口	11,896 (-3)
男	5,600 (+5)
女	6,296 (-8)
世帯	5,398 (±0)
	(外国人を含む)

## 主な電話番号 - telephone -

役場総務課	(33) 0333
役場企画調整課	(33) 0334
役場総務課(防災対策)	(33) 0335
役場産業建設課	(33) 0336
役場税務住民課	(33) 0337
役場環境衛生課	(33) 0338
役場福祉課	(33) 0339
役場出納室	(33) 0340
教育委員会	(33) 0341
議会事務局	(33) 0342
役場環境衛生課(水道)	(33) 0343
地域包括支援センター	(33) 0175
保健センター	(32) 3700
相野谷診療所	(34) 0011
鶴殿図書館	(32) 4646
まなびの郷	(32) 0241
神内福祉センター	(32) 2023
鶴殿福祉センター	(32) 0957
子育て支援センター	(32) 4388
熊野自殺防止センター	05979-2-2277
	【毎週金・土曜日 午後7時から11時まで】
防災行政無線(フリーダイヤル)	0120-334-119

おかけ間違いのないように!

## 今月のラビット



トム

## まどぐち国民年金

### ◆加入手続きは年金手帳を忘れずに

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入することになっています。

加入者は、職業などによって3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。会社員や公務員など、厚生年金保険や共済組合に加入されている方や、厚生年金保険や共済組合に加入されている方は、厚生年金保険や共済組合に加入されている方に扶養されている配偶者の方は、勤務先で手続きを行っていただけます。が、厚生年金保険や共済組合に加入されていない自営業

者、学生、フリーター、無職の方などは、役場で加入手続きを行っていただく必要があります。

国民年金の加入手続きは、基礎年金番号を記入する必要があります。窓口にお越しの際は、忘れずに年金手帳または基礎年金番号のわかるもの(納付書等)と印鑑をお持ちください。また、国民年金保険料の猶予・免除申請も同様に上記のものが必要となります。

▼詳しくは、役場税務住民課 国民年金係(☎33-0337)までお問い合わせください。  
4月の尾鷲年金事務所の職員による年金相談は、4月17日(水)午前10時から午後2時まで、役場2階小会議室で行いますので、ご利用ください。

## ごみ収集カレンダーを有効活用ください

町では、ごみ収集日程を掲載した「ごみ収集カレンダー」を今年度も発行しました。

今月号の広報きほうといっしょに各世帯に配布します。今年度から、次の3つの変更点があります。お間違えのないようお気をつけください。

- (1) 「資源にならないビン・金物の日」の名称が「資源にならないごみの日」に変更になります(分別内容については変更ありません)。
- (2) 座布団・クッション・枕の出す日が「燃料ごみ」から「資源の日」に変更になります。
- (3) 「ビンの日」の出し方が変わり、「生きビン」と「ワンウェイビン」の2種類に分けて出してください(色別に分けなくてもよくありません)。

なお、「保存版・資源とごみの正しい分け方」を、ごみ収集カレンダーに折り込んであります。今後、分別方法に変更がない限り、新しく配布することはありませので、大切に保管してください。



平成25年度のごみ収集カレンダー

※万が一、紛失した場合は、環境衛生課までお問い合わせください。

▼詳しくは、役場環境衛生課(☎33-0338)までお問い合わせください。



## スポーツ安全保険について

スポーツ安全保険は、スポーツ安全協会が契約者となり、加入手続きを行った5名以上の社会教育関係団体の構

## 熊野水軍子供太鼓 鼓新期生募集

熊野水軍子供太鼓は、新期生を募集します。みんな楽しく太鼓を演奏してみませんか。

【募集対象】 町内の小学4～6年生

【練習日】 毎週金曜日

午後7時から9時まで

▼詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。



熊野水軍子供太鼓

## ふれあい農園の入園者を募集

グリーンツーリズム推進委員会は、ふれあい農園の入園者を次のとおり募集します。

【場所・募集区画】 紀宝町井田字越谷(上野ハセ池となり)

9区画(1区画約30㎡)

【利用料金】 1,000円/月

【申込期限】 空きがあれば随時受付(区画が埋まり次第、募集は締め切らせていただきます。)

【申込先】 印鑑を持参の上、産業建設課までお越しください。

▼詳しくは、役場産業建設課(☎33-0336)までお問い合わせください。

## ご存知ですか? 就学援助費制度

就学援助費制度とは、経済的な理由により就学が困難と認められる児童・生徒について、学用品や学校給食費、修学旅行費などの一部を援助する制度です。

小・中学校に在学中、または今春入学する児童・生徒のご家庭で、受給を希望される方は、町教育委員会まで申請してください。

▼認定基準や申請方法など詳しくは、町教育委員会学校教育係(役場内☎33-0341)までお問い合わせください。

## 日曜・無料遺言 公証法律相談

新宮公証役場では、日曜・無料公証法律相談を実施しています。ぜひご利用ください。

【日時】 4月21日(日)、5月19日(日)、両日ともに午前9時から午後5時まで

【場所】 新宮公証役場 (新宮市緑ヶ丘2-1-31「カマツカビル3階」)

【相談員】 公証人 中村司 (和歌山地方務局所属)

【相談内容】 遺言、相続、離

## 紀宝町下水道サービス株式会社

浄化槽のご相談は  
フリーダイヤル  
0120-620-690

紀宝町鶴殿1375番地1  
TEL: 0735-33-0360 (代)  
FAX: 0735-33-0365  
HP: http://www.pfi-kiho.jp/

## 相続・贈与等の不動産登記や会社等の商業登記に関することについて、お気軽にご相談ください。

### 司法書士 庄司 純史

事務所 熊野市井戸町802-12  
TEL 0597-85-4568  
自宅 紀宝町井田上野2140  
携帯 090-3389-1330

## 地産地消 野菜出品者募集!!

大切に育てられた野菜を、ウミガメ公園で販売しませんか。少量出品でも大歓迎。詳しくは、お電話ください。

ウミガメ公園 ☎0735-33-0300  
紀宝町井田568番地7 営業時間: AM8:30 ~ PM6:00

## 55年の歴史に幕

# 「紀勢貨物」



紀宝の  
珍百景  
認定

久しぶりの珍百景は、北越紀州製紙(株)紀州工場の製品を輸送する貨物列車です。

当地域で生活している私たちにとって、この風景はごく当たり前のことでしたが、この貨物列車が3月15日をもって、もう見る事ができなくなりました。それは、JR紀勢本線の貨物輸送が3月16日のダイヤ改正で事実上廃止されたからです。

鵜殿駅から同社工場への引き込み線は、昭和33年から利用が始まり今年で55年目。ほぼ毎日コンテナの出し入れが行われていました。上の写真のように、国道42号と線路が交差する箇所には、全国的にも珍しい手動昇降の踏切が残っており、業務を請け負う運送会社係員がロープを引っ張って遮断機を上げ下げしていました。

コンテナを先導するのは、左の写真のように、朱色の車体の特徴で「紀勢貨物」の愛称で親しまれた「DD51」型ディーゼル機関車。愛知県稲沢市のJR稲沢駅と鵜殿駅間をほぼ毎日、一往復していました。

廃止が公表されてからは、鵜殿駅や引き込み線付近に平日でも多くの鉄道ファンが訪れ、貨物列車やコンテナに向けてカメラのシャッターを切り、名残を惜しんでいました。



(写真上) 鵜殿駅から国道42号を横切り、工場へと向かうコンテナ。(写真下) 貨物をけん引する「DD51」型ディーゼル機関車。

## つむぎや

### 鉄道の世界は奥が深い！

久しぶりの珍百景の取材で、上記の「紀勢貨物」について取材してきたのですが、そこで、鉄道ファンの方たちのすごさに本当に驚きました。

3月上旬から、鵜殿駅周辺でカメラを持っていらっしゃる方たちをよく見かけられたと思いますが、その方たちは、鉄道ファンの中でも、「撮り鉄」と呼ばれる鉄道関係の写真撮るファンの方たちで、「紀勢貨物」の最後の雄姿をカメラに収めようと全国各地から駆けつけたようです。その数は日に日に増えていき、3月15日の最終日には鵜殿駅周辺だけでも50人以上はおられたのではないのでしょうか。中には、「ありがとう紀勢貨物」と書かれたプラカードを持っている方も。

いろんな世界がありますが、鉄道の世界も奥が深いものだと感動し、また、カメラを構えているみなさんは、とてもイキイキとして、楽しんで過ごされているのがとても印象的でした。

ちなみに、鉄道ファンの世界では、実際に乗ることを楽しむ鉄道ファンのことを「乗り鉄」、鉄道が走る音やアナウンスを録音したりして楽しむ鉄道ファンのことを「音鉄」といっています。やはり奥が深い!!

(ちょっとだけ「撮り鉄」となった 竹鼻康)



Profile

**ヒメレンジャー**  
(ヒメウミガメ)

出身地：大西洋

特徴：レンジャー1番の小柄で、ちょこちょこ小刻みに歩く。癒し担当。みんなのアイドル的存在。

性格：明るくて優しい。聞き上手なので、みんなが相談に来る。

趣味：美容、お菓子作り

好きな食べ物：チョコ